

日本語の文における
始動相を表す「～だす」の分析
(形態統語論及び意味論からの考察)

モニカ

0542011



マラナターキリスト教大学

文学部

日本文学科

バンドン

2009

序論

日本の品詞動詞における「～だす」の時間の的はテンス（時制）や、アスペクト（相）や、ムード（法）である。小泉によるとアスペクトは動詞の示す行為が完結している（完了的）か、完結していない（未完了的）かを表す文法的表示である（「日本語教師のための言語学入門」保小泉、1993、pp. 123）。

益岡（「基礎日本語文法」1989、pp. 112）は次のようにアスペクトを分類している。

1. 動詞のテ形+イル、アル、シマウ、イク、クル.
2. 動詞の連用形+ハジメル、ダス、ツヅケル、オワル.
3. その他（～ところだ、～とする・～としている、～ばかりだ、～つつある）.

日本語では始動相の相を表明するために「～だす」という文法的要素を使う。「～だす」形は、始まりの段階の動きを行うこと、動きを始めることを表す（Nitta 1995: 28）。「～だす」は開始の動作のためだけではないが、あるものごとの出現が予測できない場合にも使われる。

真子（「複語動詞の構造と意味用法」1999、pp. 97）は“自然性”及び“突発性”の事態における「～だす」の用法を次のように分類している。

1. 感情の動きを表す。

例： 怒りだす

2. 不測性を強調する場合。

例： 空が曇ったかと思うと、にわかには雨が降りだした。

3. 音の自然性の場合。

例： 電話が鳴りだす。

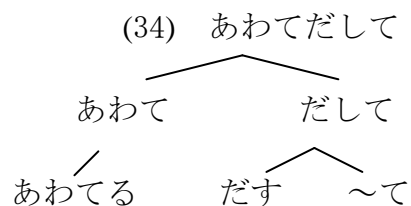
4. 表現上のニュアンスとして即興性やエネルギーの爆発等が強調される場合。

例： (芸人の) 間に生まれた一人娘は、ラジオから三味線が聞こえれば、踊りだすような子だった。

本論

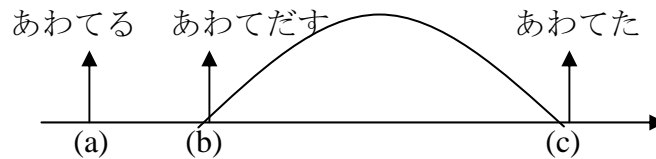
1. 動詞+だす

例： それを聞いて、彼は急にあわてだして、落ち着かなくなった。
(GTN: 76)



(34)の“あわてだして”はあわてるという動詞に始動相を表す「～だす」が付いたものである。あわてるは短い間に生じるものであるため、瞬間動詞に属する。

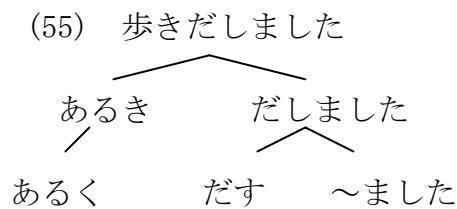
(34)に含まれている意味はある人の感情の動きである。この文の中に“彼”が何かを聞いてから、あわてるようになった。冷静な情態からあわてるという感情の変化が生じたのである。下の絵は意味をイラストしている。



“あわてだした”は(b)の時点におかれる。

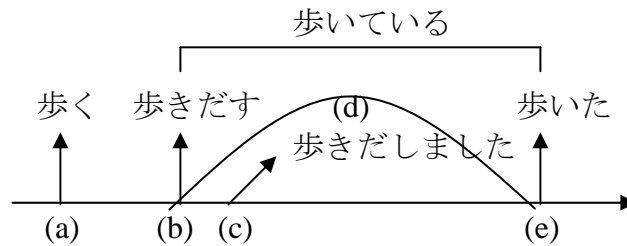
2. 動詞+だした

例： 庄助はだまってまた上流へ歩きだしました。 (KnMS: 77)



IC の分解にもとづくと、“ます形の歩く”が“ダシタ”の始動相に結びつき、“歩き出しました”になる。歩くとは継続的にある行為が起こって、継続動詞に属する。

(55)ではその前に起こった事態は庄助が“歩く”という動作をしている。しかしある事によって急に立ちどまったのである。しかし、その後、彼は“歩く”動作を続けるのである。したがって、ある動作の開始の意味が現れるのである。以下の時間線形の絵を見よう。



(c)の点にある“歩きだしました”は(b)点から動作の動きの過程を示す。

結論

日本語の文における始動相を表す「～だす」を文折してみた結果、次の結論を引き出すことができる。

1. 始動相の「～だす」が付く動詞の種類は状態動詞、継続動詞、瞬間動詞である。
2. 動詞ます形+だす・だしたの形態の文における意味は“動作の開始”、“感情の動き”、“不測の事態”、“音の自然発生”、“表現上のニュアンスとして即興性やエネルギーの爆発等”である。

DAFTAR ISI

KATA PENGANTAR	i
DAFTAR ISI	iv
BAB I. PENDAHULUAN	
1.1 Latar Belakang Masalah.....	1
1.2 Rumusan Masalah.....	7
1.3 Tujuan Penelitian.....	8
1.4 Metode Penelitian dan Teknik Kajian.....	8
1.4.1 Metode Penelitian.....	8
1.4.2 Teknik Kajian.....	9
1.5 Organisasi Penulisan Skripsi.....	10
BAB II. KAJIAN TEORI	
2.1 Morfosintaksis.....	11
2.2 Semantik.....	14
2.2.1 Makna Leksikal.....	15
2.2.2 Makna Gramatikal.....	16
2.3 品詞分類 /Hinshibunrui/.....	18
2.3.1 Verba.....	22
2.4 相 /Sou/.....	25
2.4.1 Aspek inkoatif ~だす.....	29

BAB III.	ANALISIS PENGGUNAAN ASPEK INKOATIF ~だす PADA	
	BAHASA JEPANG	
3.1	Verba + だす.....	33
3.2	Verba + だした.....	44
BAB IV.	KESIMPULAN.....	66
	DAFTAR PUSTAKA.....	71
	DAFTAR KAMUS ACUAN.....	73
	LAMPIRAN I DATA.....	i
	LAMPIRAN II TABEL.....	x
	SINOPSIS.....	xiv
	RIWAYAT HIDUP PENULIS	